

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 12 月 24 日

【評価実施概要】

事業所番号	0191000058		
法人名	株式会社 メデカジャパン		
事業所名	江別ケアパーク そよ風		
所在地	江別市1条3丁目12番地の2 (電話) 011-389-3924		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年12月21日	評価確定日	平成22年2月18日

【情報提供票より】 (平成 21 年 1 2 月 5 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成19年 12月 10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 14人, 非常勤 3人, 常勤換算	14人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5 階建ての		3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	56,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (12月 21日現在)

利用者人数	17 名	男性	7 名	女性	10 名
要介護 1	8 名	要介護 2	4 名		
要介護 3	4 名	要介護 4	1 名		
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	70 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団心優会 江別内科クリニック
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

新築2年の複合施設の3階の半分がグループホームで、防災訓練などを含め、総合的に充実した取り組みが進められています。系列のデイサービスセンターの車両を利用しての外出が多く実施されています。ボランティアが定期的に来訪したり、幼稚園児に来ていただき、利用者の楽しみとなっています。利用者の好みや希望を取り入れて献立を職員が作成し、誕生会などには利用者本位に考慮されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回は初めての評価で改善点が多数ありましたが、殆んど改善されています。若干の項目については、継続しての取り組みとなっています。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 開設後2回目の自己評価及び外部評価であり、管理者と一部の職員が検討し、職員全員の取り組みには至っていません。また、前回の改善項目についても職員全員に周知が徹底されていません。
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は利用者、家族、地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員の方々などが出席して、今年度2回開催されましたが、回数において十分とは言えません。ホームの報告が主な内容で、意見交換がされていますが、討議内容は職員に周知されていません。併設している複合施設関係者等の出席が望まれます。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 玄関に設置の意見箱の利用はありませんが、面会時や管理者からの電話などで家族は気軽に話しをして要望をあげています。検討課題は職員と話し合っています。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームは複合施設の一部にあり、地域住民の方々の認識は未だ十分ではありませんが、町内会の行事に利用者と職員が参加したり、近隣の幼稚園児の来訪やボランティアの定期的な協力があり、利用者の楽しみに繋がっています。また、施設の行事(納涼祭)に地域の方々に参加していただいています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営法人は全国組織で会社の理念は開設時から作られていますが、地域密着型サービスの内容を含めたホーム独自の理念を追加して基本理念としています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営法人の理念は毎朝の朝礼で複合施設全体の職員が唱和して確認しています。ホーム独自の理念はスタッフルームに掲示があるのみで、職員の実践への取り組みには至っていません。	○	理念の実践の場としてホーム独自の取り組みを期待します。
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームは複合施設の一部にあり、地域住民の方々の認識は未だ十分ではありませんが、町内会の行事に利用者と職員が参加したり、近隣の幼稚園児の来訪やボランティアの定期的な協力があり、利用者の楽しみに繋がっています。施設の行事（納涼祭）に地域住民の方々に参加していただいています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	開設後2回目の自己評価及び外部評価であり、管理者と一部の職員が検討し、職員全員の取り組みには至っていません。また、前回の改善項目についても職員全員に周知が徹底されていません。	○	評価の意義を職員全員で理解し、前向きに取り組むことを期待します。

江別市 江別ケアパーク そよ風

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的には開催していますが、今年度2回で回数においては十分とは言えません。また、複合施設の関係者等の参加も見られません。	○	同一建物に有料老人ホームとショートステイ、デイサービスが事業を行なっています。最も身近な関係者等の出席が望まれます。全体としての検討が必要な場合は、出席していない職員にも内容が周知されるよう、取り組みを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険と各種の代行申請や手続きなど、市役所に出向いて指導や助言をいただき、利用者のサービスの向上に活かしています。また、管理者会議でも連携を図っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりや金銭報告など「たより」を全員共通の箇所と個人別の部分を作成し、管理者のみでなく職員も利用者の様子を書いて家族に知らせています。しかし、パソコン操作で保存がなく、利用者には知られていません。	○	カラーの写真入で分かりやすい「たより」をファイルなどに保存し、利用者や来訪の家族が見て楽しめるような工夫を期待します。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、家族の意見を伺う体制にしていますが、利用がありません。しかし、面会時や管理者からの電話などで家族は気軽に話しをして要望をあげています。検討課題は職員と話し合っています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設2年程で職員の交替が見られますが、利用者へのダメージは殆んどありません。引継ぎを丁寧に自然に交替が出来るように配慮しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員の研修期間は実際にトレーニングをしながら、学ぶことと同時進行で行なっています。外部研修は情報を提供し交替で出席できるようにしています。施設全体では月一回研修がありますが、職員の出席は少ない状況です。	○	未経験であったり、認知症介護の対応にとまどい困難を抱えている職員など、職員全員の質の向上を目指した取り組みを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム協議会で管理者のみでなく職員を含め利用者と触れ合う場を設け参加しています。また、建物の施設見学を受け入れ、他のグループホームからの見学者が多く、交流の場面があります。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居に至る経過はまちまちですが、利用者の見学や事前面接を重視しています。時には利用者が納得しないで入居になる場合もあり、帰宅願望が強くでるケースも見られます。	○	利用者と家族が見学と面接、さらに体験などを通して納得した上で、馴染みの関係づくりが容易に進められることが求められます。今後の取り組みを期待します。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者に関わることを重点に置き、出来る限り時間を共有することで良好な関係作りに努力しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一日の生活リズムを個人別に把握して、利用者の意向や思いで満足がいく暮らしができるように検討し支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者と家族が納得できる生活が継続できるように、特に在宅の延長線上で考えて、関係者と話し合い、介護計画を作成しています。開始当初は1ヵ月で見直しをしています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的には毎月職員全員で意見交換をしてモニタリングし、生活支援記録を参考にしたり、家族の要望などを取り入れ、3ヵ月で見直しをしています。急変時には速やかに対応しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の家族の状況に応じて、通院介助・理美容院の引率や利用者の友人宅訪問など、出来る範囲で柔軟な支援をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関から月2回往診による診療があり、利用者の健康管理は安心に繋がっています。また、かかりつけ医を決めて受診が継続されるように支援し、緊急時には併設施設の看護師の協力がいただける体制になっています。日常の健康管理として血圧測定が充実しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた取り組みは職員全員で方針を共有するまでに至っていません。また、入居時に指針の説明もなされていません。	○	利用者と家族、さらに職員全員が方針を共有し、日々の暮らしが安心して継続できるような取り組みを期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーに配慮し、尊敬の念を重要視して支援しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は決まりや都合で利用者に我慢を強いたりせず、自由に一人ひとりの過ごし方に添って支援しています。体操やレクリエーションにも無理強いしない対応をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日頃利用者の希望を考慮した献立を作成し、食事を提供しています。特に誕生日には利用者の好みを優先し、楽しみな食事を演出しています。片付けなどを利用者は率先して協力しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯を利用者本位に設定し、出来る限り希望に添って入浴ができるようにしています。特に入浴を拒む利用者も週2回を目途に努力しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事に関わることが喜びとなる利用者には率先して協力をいただいています。折り紙や習字など趣味を活かす場面を設定し、外部からのボランティアの協力も見られます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	併設デイサービスの車を有効に利用して、月2回程の屋外行事を計画し、ユニット毎に様々な外出支援を実施して、利用者の楽しみとなっています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の造りが玄関やユニットの入口全て自動ドアになっており、日常的にロックせざるを得ない状況です。インターホンで開ける仕組みとし、家族の了解をいただいています。		

江別市 江別ケアパーク そよ風

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回複合施設で消防署と連携して災害訓練を実施しています。耐火構造の建築ですが、職員は訓練の意義を認識して、安全策を守っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員が献立を作成していますが、複合施設の栄養士の点検をいただき、バランスの良い食事を提供しています。摂取量や水分量など毎食記録し、利用者の状況によっては刻みやトロミなど工夫があります。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の場所は、利用者が迷わないような単純な間取りで、表示も適宜に馴染みになっています。トイレの数が多く、介助がしやすい造りになっています。季節の臭いがするような配慮もあり、3階から地域が一望でき、見晴らしの良いロケーションです。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には作り付けのタンスと棚があり、利用者が馴染みの道具を持ち込み、落ち着いた自分の部屋になっています。段差がなく清潔で暖房も適温に保たれています。		

※ は、重点項目。